

令和2年度使用中学校用教科用図書採択結果等について

採択地区名 庄原市

種目	発行者	採 択 理 由
国 語	東書	教材の冒頭と終わりに学習目標を示し、学習の視点が明確で分かりやすい。生徒の意欲を喚起するように単元末で多くの書籍を紹介するなど、読書活動や創作活動に、生徒が主体的かつ効果的に取り組むことができるように工夫している。また、単元の配置と教材の分量も適切であり、「話す・聞く」「書く」「読む」の各領域の力をバランスよく身に付けることができる。さらに、言語活動も充実しており、言葉の力、思考力、表現力の育成を図ることができる。読書への案内についても効果的な工夫を行っている。
書 写	教出	単元ごとに目標を明記しており、学習のポイントを簡潔に示している。また、単元の終わりに、学習を振り返り、定着を図る工夫をしている。毛筆で学習した内容を硬筆に応用する課題を各単元に設定したり、日常生活に生かせる教材を多く扱ったりすることで、発展的な学習につなぐことができる。
社 会 (地理的分野)	東書	写真や絵図、地図やグラフなどの資料を多く掲載し、生徒の興味・関心を高め、更に深い内容への興味を引き出す工夫をしており、生徒が主体的に学習に取り組むことができる。発展的な学習に関する内容も充実しており、学習する上で中心となる視点を示しているため、学習を深めることができる。
社 会 (歴史的分野)	東書	作業的・体験的な学習の事例が豊富で、生徒の多様な学び方を引き出す工夫がある。各章の終わりには、前の時代との比較により時代の特色をとらえるなど、多面的・多角的に考察させ、さらに、学習した用語の意味を自分の言葉で説明させることで学習の定着を図ることができる。また、掲載された資料も写真が多く取り入れられているなど、視覚的な面でも学習への興味・関心を高めることができる。
社 会 (公民的分野)	東書	絵図や写真、図表や新聞記事が多く掲載され、生徒の興味・関心を高めることに効果的である。また、地球環境問題との関連で、我が国のエネルギー政策課題を多面的・多角的に考察させている。現代社会とのつながりを意識した課題発見・解決学習や発展的な学習に関する内容も充実しており、学習を深めることができる。
地 図	帝国	陸高と水深の色分けの凡例や、市街地・田・畑等の様々な凡例が各ページに掲載されており、地図を見る上での着眼点を明確に示している。また、地図を活用する上での着眼点を示すなど、学習内容を分かりやすくしている。さらに、地図から読み取る学習活動や言語活動を促すコーナーを多く載せている。
数 学	東書	巻頭に「学習の進め方」でノート書き方、単元途中に「数学マイノート」として、ノートの工夫の例を示すなど、言語活動の充実を図る工夫がしてある。章末にはA問題を通して定着の確認ができる。また、学習内容に関連したイラストや写真も多くあり、興味をもって基礎・基本の定着を図れるものとなっている。単元の学習を活用したり、生活の中で活用したりするなどの問題解決的な問題を多く設定しており、章末でのB問題とともに活用力を育成する工夫が充実している。また、発展的な課題においても、多様な考えを引き出す設定となっている。

理 科	啓林館	学習内容について、最も他教科との関連を明確にしている。別冊の補充問題は基礎・基本の確実な定着を図ることに活用でき、主体的な学びを目指すために有効な自由研究の説明も充実している。また、学んだことと日常生活の関連について説明したり話し合ったりするなどの言語活動の充実を図っている。
音 楽 (一般)	教出	教材名の下に学習のポイントを2つずつ示すことにより、学習活動を明確にしている。また、創作では、表現につながる一連の学習過程を示すことにより、生徒が主体的に学習に取り組める工夫をしている。さらに、中学校で学習する用語や記号を見開き右ページ上に示し、楽典ページにまとめるなど、学習内容を分かりやすくしている。
音 楽 (器楽合奏)	教出	楽曲ごとに学習のポイントを示すことにより、学習活動を明確にしている。また、箏をはじめとして奏法等など学習の流れを丁寧にし、生徒が主体的に学習に取り組めるようにしている。教材の分量も適切であり、様々な楽器を使って演奏する曲を掲載している。
美 術	光村	題材における4観点に沿った学びのねらいを明確に示すことにより、生徒が主体的に取り組む工夫をしている。また、生活や社会における美術の働きを示す具体的な例示も、伝統的なものから実用的なものまで幅広い。鑑賞においては、生徒の発想や考えを交流し、再考させるなどの言語活動の充実を図る設定もしている。
保健体育	東書	巻頭には生徒が意欲的に学習に取り組めるような写真や言葉を掲載している。生徒が学習の見通しをもてるよう、本時の目標を明示したり、学年ごとに保健編と体育編の内容を整理したりしている。さらに、章末に設定されている「確認の問題」や「活用の問題」を使って言語活動の充実を図ることができる。
技術・家庭 (技術分野)	開隆堂	興味・関心を高めるための工夫として、課題の設定が充実しているとともに、自分が学習したことを評価・活用する内容もあるため、主体的に学習できる工夫をしている。また、実践例を多く示し様々な条件に対応しやすく、情報セキュリティや情報モラルについても詳細に説明している。さらに、自分の発表などについても、評価をもとに振り返りをするようになっており、言語活動の充実が期待できる。
技術・家庭 (家庭分野)	東書	生徒の興味・関心を高める写真を多く掲載しており、学習を深める上で役立つ内容が充実していて、作業等の手順も分かりやすい。また、食生活編が充実しており、地域の伝統野菜や日本各地の郷土料理についてもまとめている。「身近な消費生活と環境」という内容の中で、フェアトレードについて説明している。他教科との関連も分かりやすく示している。
英 語	開隆堂	小学校外国語活動からの接続を図るために、第1学年の導入期において、適切な題材設定がしてあり、新学習指導要領において重視されている場面設定も、日常生活の場面を多く設定している。また、3年間を見通したCAN-DOリストを明確に示しており、生徒にとって学習の見通しがもちやすく、到達度も把握しやすい。